

用語	説明
促進区域	温対法第21条第5項2号に規定する市町村が定めるよう努めるものとされている「地域脱炭素化促進事業の対象となる区域」を指す。
PPA（ピーピーイー）	Power Purchase Agreement の略。電力売電契約のこと。PPA事業者が需要家の施設（敷地等）に太陽光発電設備を設置し、所有・維持管理した上で、発電された電気を需要家に供給する仕組み。
HEMS（ヘムス）	Home Energy Management Systemの略。エネルギーを見えるかするだけでなく、家電、電気設備を最適に制御するための管理システム。
BEMS（ベムス）	building and Energy Management Systemの略。ビル・エネルギー管理システムと訳され、室内環境とエネルギー性能の最適化を図るためのビル管理システムのこと。業務用ビル等、建物内のエネルギー使用状況や設備機器の運転状況を把握し、需要予測に基づく負荷を勘案して最適な運転制御を自動で行うもので、エネルギーの供給設備と需要設備を監視・制御し、需要予測しながら、最適な運転を行うトータルなシステム。
裨益	助けとなり、役立つこと。
ZEH（ゼッチ）	Net Zero Energy Houseの略。外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内の環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅。
ZEB（ゼブ）	Net Zero Energy Burdingのこと。先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物のこと。
地中熱	浅い地盤中に存在する低温の熱エネルギー。大気の温度に対して、地中の温度は地下10～15 mの深さになると、年間を通して温度の変化が見られなくなるため、夏場は外気温度よりも地中温度が低く、冬場は外気温度よりも地中温度が高いことから、この温度差を利用して効率的な冷暖房等を行う。
EMS	Energy Management Systemの略。エネルギー（電力使用量）の見える化や設備の制御を行って効率的なエネルギーの管理・制御を行うシステム。対象によってHEMS、BEMS、FEMSなどがある。
ESCO（エスコ）	Energy Service Companyの略。省エネルギー改修にかかるすべての経費を光熱費の削減分で賄う制度。ESCO事業者は、省エネルギー診断、設計・施工、運転・維持管理、資金調達などにかかるすべてのサービスを提供する。
重点対策加速化事業	全国津々浦々で取り組むことが望ましい脱炭素の基盤となる重点対策を複合的かつ複数年度にわたって取り組む事業。
V2H（ブイツーエイチ）	Vehicle to Homeの略。電気自動車・プラグインハイブリッド自動車への充電、並びに電気自動車・プラグインハイブリッド事業者から給電ができる装置。